



<http://www.yokkaichi.ed.jp/~tomari/cms2/htdocs/>

学校教育目標「未来を切りひらき、幸せに生きる子どもの育成」

めざす学校 「笑顔と優しさのあふれる学校」

全国学力・学習状況調査結果の概要について

1学期に6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査では、国語科・算数科の2教科とも全国平均を下回る結果となりましたが、全国平均に近づいてきた項目もあります。また、4、5年生で実施したみえスタディ・チェックの結果では四日市市の平均を上回る学年もあり、学校全体の学力は落ち着いた学習環境のもとで着実に向上してきています。四日市市では調査結果について、学校だよりで「全国平均との比較」「強み・弱みの分析内容」「授業改善について」「家庭学習状況について」を保護者に公表することになっています。以下に本年度の問題の一部とともに提供させていただきますので、本校の実態をご確認ください。

全国平均との比較

国語科・算数科の2教科とも全国平均を下回る結果となりました。

強み・弱みの分析内容

【国語】

- 強み** ・ 目的や意図に応じて、集めた情報を分類したり関係づけたりして、自分の考えが伝わるように書くことができる。
- 弱み** ・ 基本的な漢字を文の中で正しく使うことができない。
・ 文の中における主語と述語の関係を理解できていない。

【算数】

- 強み** ・ 基礎的な問題については答えを導き出そうと取り組むことができる。
・ 速さと時間、道のりの関係を理解できている。
- 弱み** ・ 除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係が理解できていない。
・ 図形の意味や性質について理解できていない。
・ 求め方を適切な言葉や式を用いて説明することができない。

授業改善について

強み・弱みの分析内容をもとに授業改善を行い、どの子にも「わかる」授業をめざします。特に算数の授業では、3年生以上でクラスをさらに分ける少人数授業をすすめ、苦手な子のクラスの人数をできるだけ少なくして、基礎基本が定着していない子の指導を丁寧に行うと

もに、得意な子には、学力調査の発展的な問題にも対応できるような力をつけていきます。

家庭学習状況について

全国学力・学習状況調査の児童質問紙の家庭学習状況についての項目、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）」と「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」については肯定的な回答が全国平均を下回る結果となりました。

一方、「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」については、肯定的な回答が全国平均を上回っています。

学力向上のため、引き続き学校と家庭が連携して子どもたちに必要な学習習慣を身につけさせたいと考えています。特に以下の問題にもある漢字の学習は、家庭でも繰り返し書くことで確実に力がつきますので、学年に応じた家庭学習の時間確保をお願いいたします。

本年度の問題の一部です。このような問題に対応できる力をつけていきます。

国語「【高山さんの文章】の下線部ア・イを、漢字を使って書き直す」

設問の趣旨

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。

三 高山さんは、【高山さんの文章】を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていた漢字に書き直すことにしました。次の一部ア、イを漢字でいねいに書きましょう。

ア きょうぎの作戦を考えたりします。

上級生が遠くからボールを イなげる。

算数「五角柱の面の数を書き、そのわけを底面と側面に着目して書く」

設問の趣旨

角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。

3 (4) ことねさんたちは、角柱の面の数について考えています。



三角柱



四角柱



五角柱



ことね

三角柱の面は5つです。三角柱には、底面が2つ、側面が3つあるからです。



はると

四角柱の面は6つです。



ひより

五角柱の面はいくつかな。

指定された2つの言葉を使って、言葉や数で理由を説明する問題です。

五角柱の面はいくつですか。答えを書きましょう。また、そのわけを、底面と側面がそれぞれいくつあるのかがわかるようにして、言葉と数を使って書きましょう。そのとき、「底面」、「側面」の2つの言葉を使いましょう。